



芝山小だより



11月号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

新たな芝山小学校の歴史を築く

校長 寺井 俊敬

10月も後半、朝晩はだんだんと寒くなってまいりましたが、日中の暖かさは心地よく感じます。

先週27日(金)には、開校70周年記念集会が行われました。子供たちが中心となって、進行を務めました。集会の中では、子供たちが募集して集めたクイズ、呼掛けやトーンチャイムの発表、清瀬讃歌や校歌、そして、第8回卒業生、渡邊勝弘様のお話等プログラムは盛沢山でした。

渡辺様からは、芝山小学校には、当時、東京小児療育所に分教室があり、ご自身もそこに通っていた時のことをお話いただきました。そして、最後には、子供たちに健康の大切さ、友達の大切さ、困難を乗り越える大切さ等のメッセージをお話していただきました。子供たちにとっては、芝山小学校の歴史を知る良い機会となりました。



「ようこそ先輩」 渡邊勝弘様のお話を聞いています。

私も、開校70周年行事を迎えるにあたり、過去の資料をいろいろと調べてみました。

開校10周年記念誌の中には、当時の村長 島田 繁正様が執筆された原稿の中で、「開校当時、急激な人口増加によりこの地域の方々の小学校増設の声が起って来たこと」、「町の人みんなと一緒に作り上げてきたのがこの校舎である」、といったことが記録に残されています。

また、その記念誌には、「10年勤続職員座談会」という、開校当時の教職員の方々の話があり、次のような記録がありました。

- ・昭和28年4月、清瀬小から机、椅子などを子供たちがみんな一つずつ長い道をアリの行列のように運んできた。
- ・教室がなくて、運動場で露天授業を行っていた。
- ・宿直の時には電灯がつかなくて真っ暗だった。
- ・新設校で本当に無いものづくしで苦労した。

開校当時は、本当に苦労したのだと感じます。その後、開校10年目にして校歌ができたこと、校庭に手作り遊具があったこと、昭和53年に木造の校舎から今の新校舎へと変わったこと、飼育舎や水族館があったこと等の記録がありました。今はなくなってしまったものもありますが、運動会、音楽会、展覧会、ふれあい班活動、芝小交流会、宿泊行事等、今に続いているものもたくさんあります。

記念集会の中で、子供たちには、「これからの芝山小学校の歴史を作るのは皆さんです。」と話をしました。今後、子供たちを中心に、芝山小学校の歴史を作ってきた皆様の思いを大切にしながら、保護者・地域の皆様とともに新たな芝山小学校の歴史を築いていきます。

11月2日(木)には、お客様をお迎えしての記念式典を実施する予定です。保護者、地域の皆様には、今後とも芝山小学校の教育活動にご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ふれあい月間

6月、11月、2月は、東京都の「ふれあい月間」です。ふれあい月間では、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のために、子供たちへのアンケート調査による実態把握をしていきます。また、いじめについての悩み、友達関係の不安など、SOS の出し方や相談の方法について知らせていきます。子供たちがいじめの防止について自ら考え行動できるように、学年に応じた内容で授業や話し合いを行っていきます。